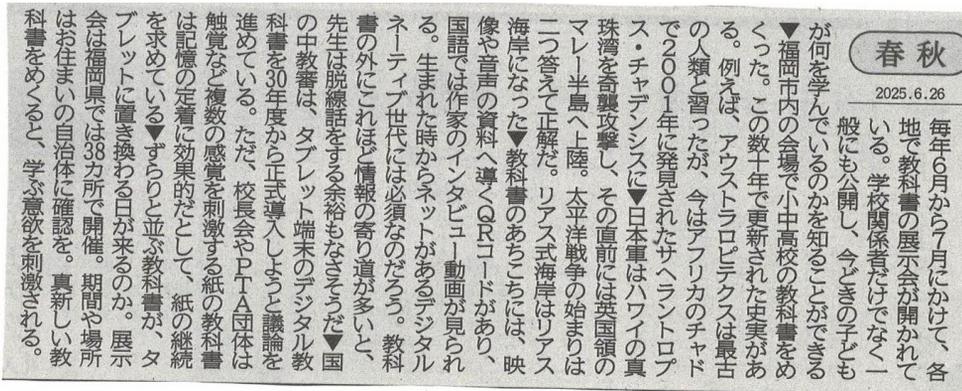


「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進
～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

～「自分大好き」「友達大好き」を目指したICT活用～



新聞記事(令和7年6月26日西日本新聞朝刊)にデジタル教科書の話が取り上げられています。記事に取り上げられている通り、ただ使えばよいというものではありません。

ただ、我々プロ教員として大切なのは、「中身を知っている上で、使えるか使えないのかの判断をしていく」ことです。少なくとも、教科書に付随しているデジタル教材やQRコードについては、一度目を通した上で、判断していくようにしましょう。

本校のスローガン「自分大好き」「友達大好き」に即して考えてみた際に、タブレットは「自分の考えを表現し発信する」「友達の考えを共有する」「友達とともに考えを創り上げる」といった際にとっても有効なツールです。大切なのは「こんなことに使えたら」という教師の授業構想力です。「この場面で、多くの考えに触れさせ、考えをもっと広げさせていきたい」「ここで、考えを共有するために、このタイミングでタブレットに考えを創らせよう」「そのためには、こんなテンプレートを準備しておこう」といった授業へのアイデアを思いめぐらせ活用していくことが、子どもが「学びがい」のある授業づくりにつながります。



どのようなコンテンツがあるかの理解



集団思考の場としての活用



グループでの協働追求



振り返りの際の子どものノートの紹介。



知識を構造的にとらえる黒板。これも大切な指導技術です。